
2005年3月期
中間決算説明会

2004年10月28日

冲電気工業株式会社

本日のご説明内容

1. 2005年3月期業績について

- 1) 中間決算について
 - 1-1) 決算概要
 - 1-2) P/Lの概要
 - 1-3) B/Sの概要
- 2) 通期業績予想
- 3) 事業別セグメント情報
- 4) キャッシュフロー
- 5) 設備投資額、減価償却費、
研究開発費
- 6) 人員推移

2. 重点事業について

- 1) 3つの重点注力事業
 - 1-1) 情報通信システム事業
 - 1-2) 半導体事業
 - 1-3) プリンタ事業
- 2) 中期経営目標

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

中間期業績の概要

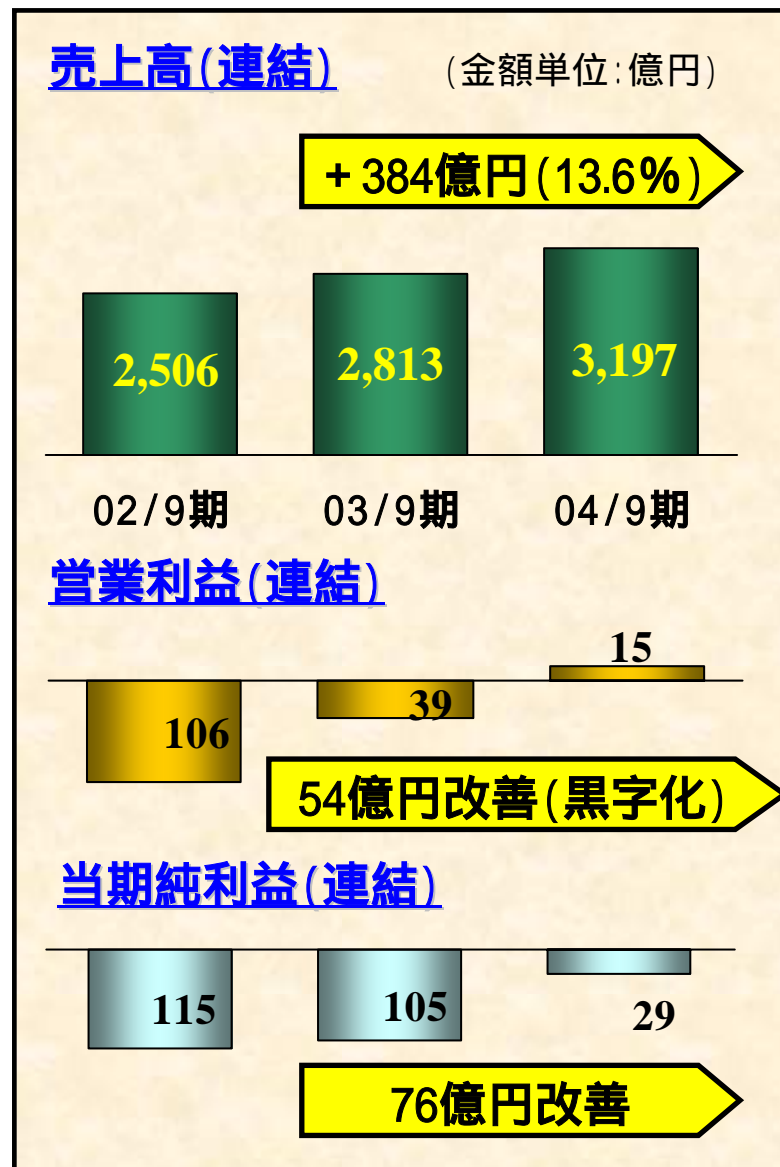
事業概況

< 経済環境 >

- 景気はほぼ堅調に推移：
企業の設備投資増、デジタル家電活
況など、ほぼ回復基調

< 当社の概況 > (対前年度比較)

- 金融機関でのシステム投資増加、
通信キャリアのIP関連投資の拡大、
カラーNIPプリンタ市場の拡大、
半導体市況の好調により、売上高
が大幅増加
- 売上増、事業構造改革等により、
営業利益黒字化および
当期純利益も改善



中間期 P/L の概要

● 大幅増収および構造改革により、営業利益黒字化を達成

■ 比較連結 P/L

(金額単位: 億円)

	03/9期	04/9期	差異(増減)
売上高	2,813	3,197	384
(売上原価率)	(76.0%)	(74.7%)	(1.3%良化)
売上原価	2,137	2,387	250
販管費	715	795	80
営業利益	39	15	54
営業外収支	43	21	22
経常利益	82	6	76
特別利益	9	10	1
特別損失	74	51	23
税引前利益	147	47	100
法人税等	42	18	24
当期純利益	105	29	76

連結売上高

(億円)

	03/9期	04/9期	差異
情報	1,516	1,601	85
通信	445	521	76
デバイス	600	766	166
その他	252	309	57

連結営業利益

(億円)

	03/9期	04/9期	差異
情報	51	18	33
通信	16	3	19
デバイス	21	34	55
その他	5	14	9
本社・消去	58	54	4

平均為替レート

	実勢レート		04年度 社内レート
	03中間	04中間	
USDドル	118.1	109.9	105
ユーロ	133.5	133.3	130

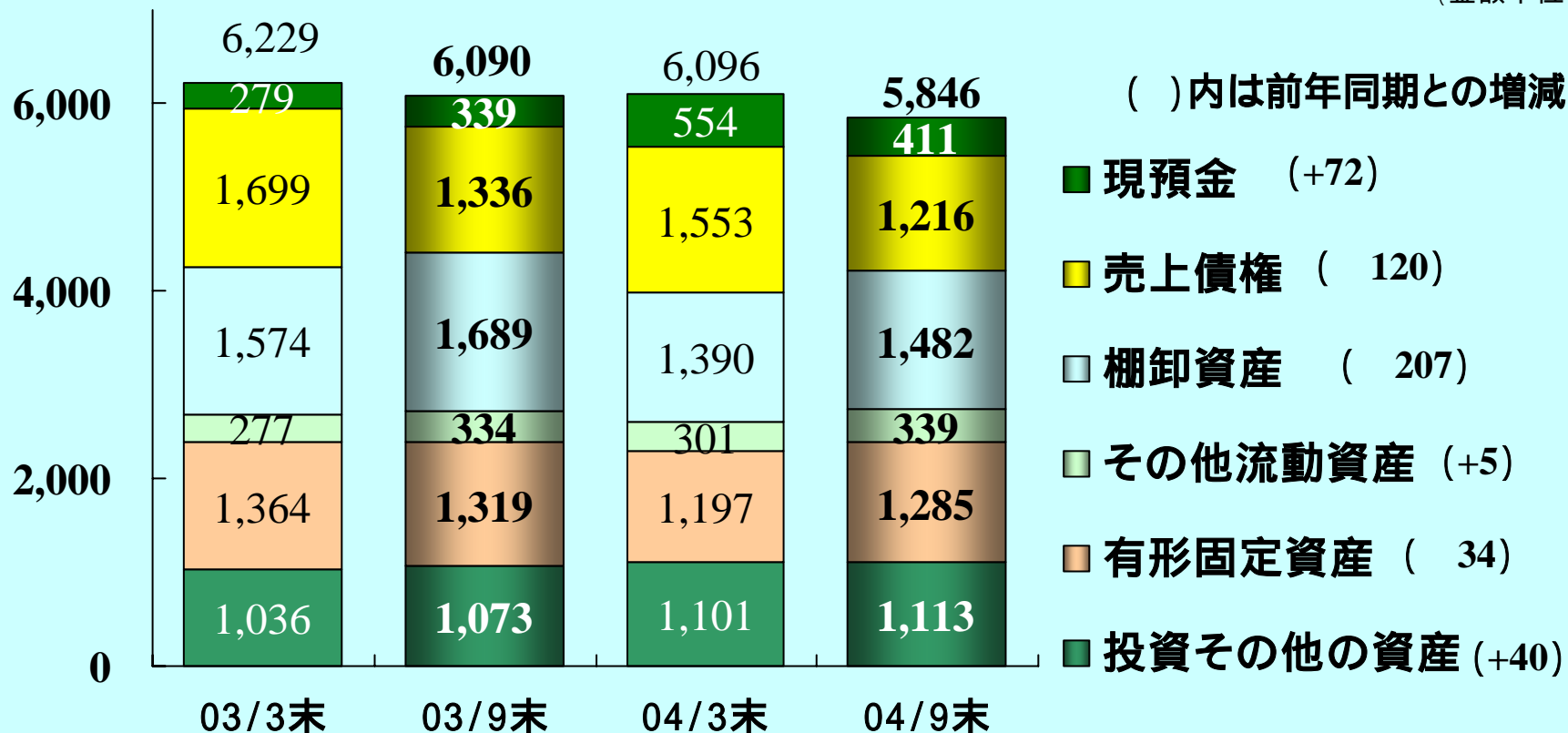
中間期 B / S 概要 (1)

【貸借対照表 - 資産の部】

- 売掛金、棚卸の圧縮等により総資産は前年同期対比244億円減少
- 主要な資産回転率も大幅に良化

	03/9末	04/9末	差異
総資産回転率	0.91	1.07	0.16良化
売上債権回転率	3.71	4.62	0.91良化
棚卸資産回転率	3.45	4.45	1.00良化

(金額単位: 億円)

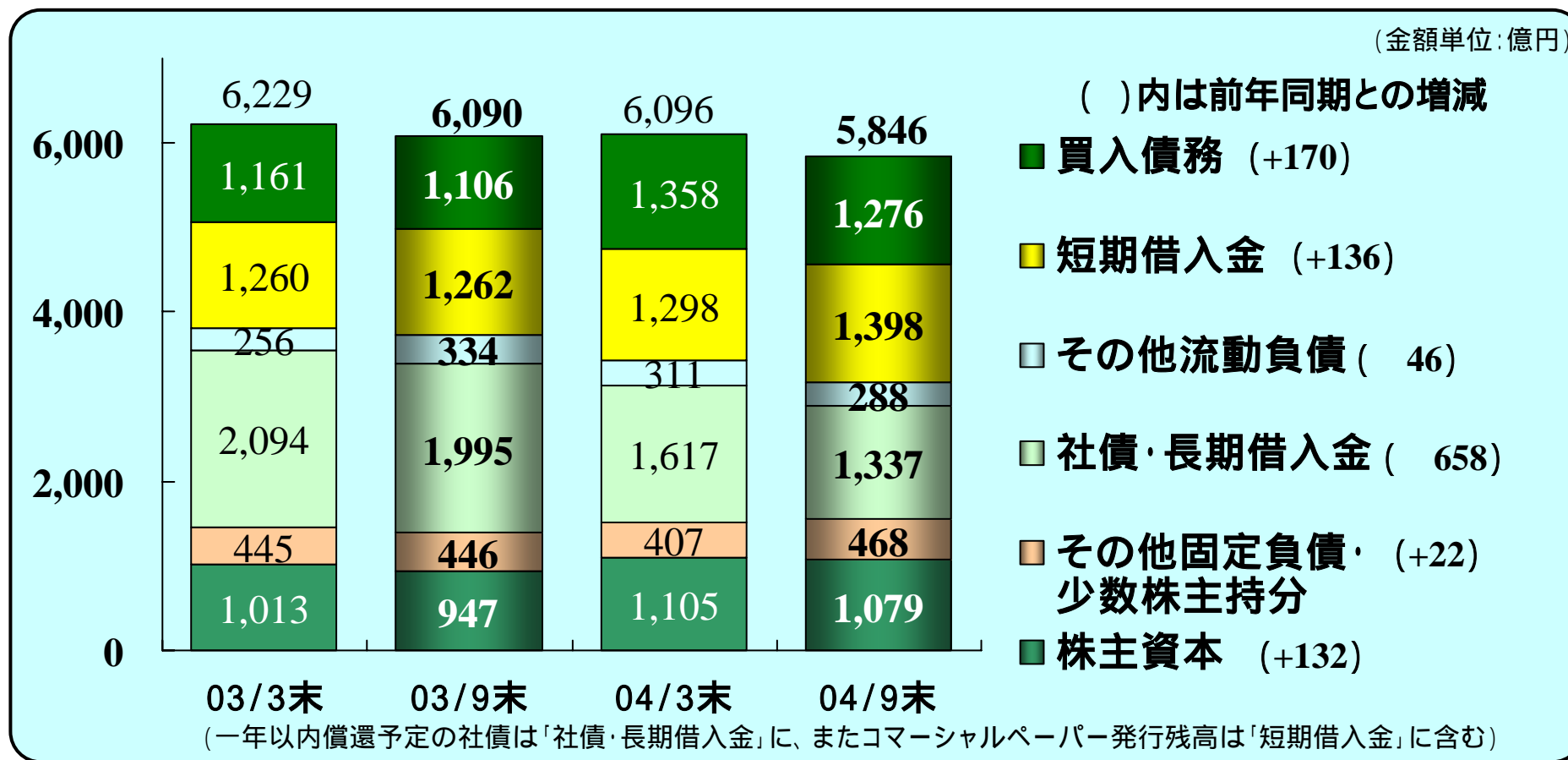


中間期 B / S 概要 (2)

【貸借対照表 - 負債・資本の部】

- キャッシュ・フローの改善により、有利子負債を前年同期比523億円圧縮

	03/9末	04/9末	差異
有利子負債比率(%)	53.5	46.8	6.7良化
株主資本比率(%)	15.5	18.5	3.0良化



2005年3月期 通期予想の前提条件

【経済見通し】

- ・ 企業の設備投資拡大や個人消費の堅調は予測されるも、先行き不透明感払拭できず
- ・ 競争激化による価格低減圧力、原油価格高騰による景気への影響は懸念材料

【市場動向】

- ・ 情報 金融は新紙幣対応からIT・ネットワーク投資へ。官公庁大型プロジェクト延期
- ・ 通信 通信キャリアはBB-IPネットワーク関連投資へ。価格競争激化
- ・ デバイス 半導体市場の成長率は鈍化。通信・デジタル家電向けLSIは年内堅調

【為替レート的前提および損益に与える影響】

(注)外貨建仕入、為替予約等控除後

	中間期実績		下半期見込み		
	想定レート	実勢レート	想定レート	外貨建売上 (億通貨)	(注)1円変動に よる損益影響
USドル	105円/\$	109.9円/\$	105円/\$	4.0	1億円
ユーロ	130円/E	133.3円/E	130円/E	3.5	1.5億円

【通期業績予想】

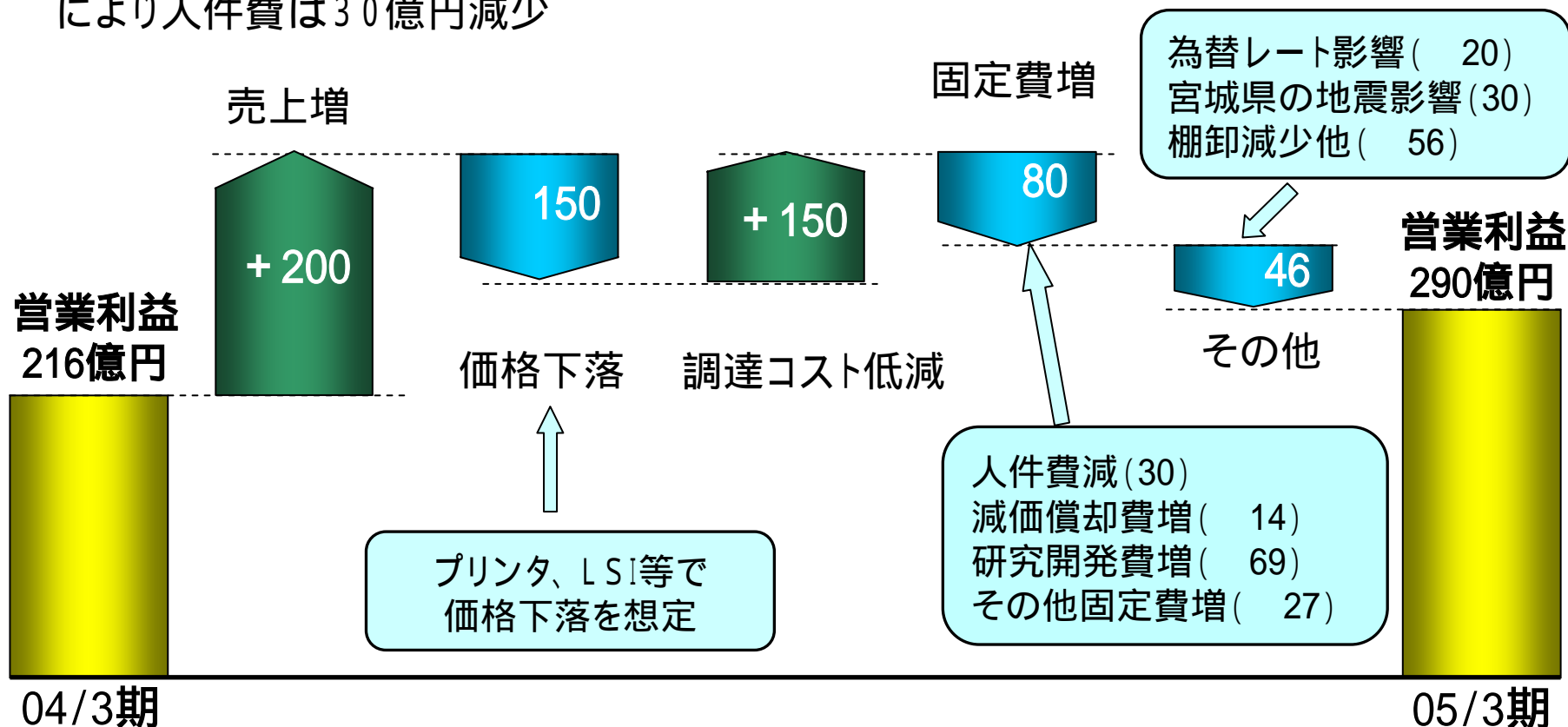
(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
今回予想	7,100	290	210	100
7/28 予想	6,800	290	200	100

営業利益の変動要因

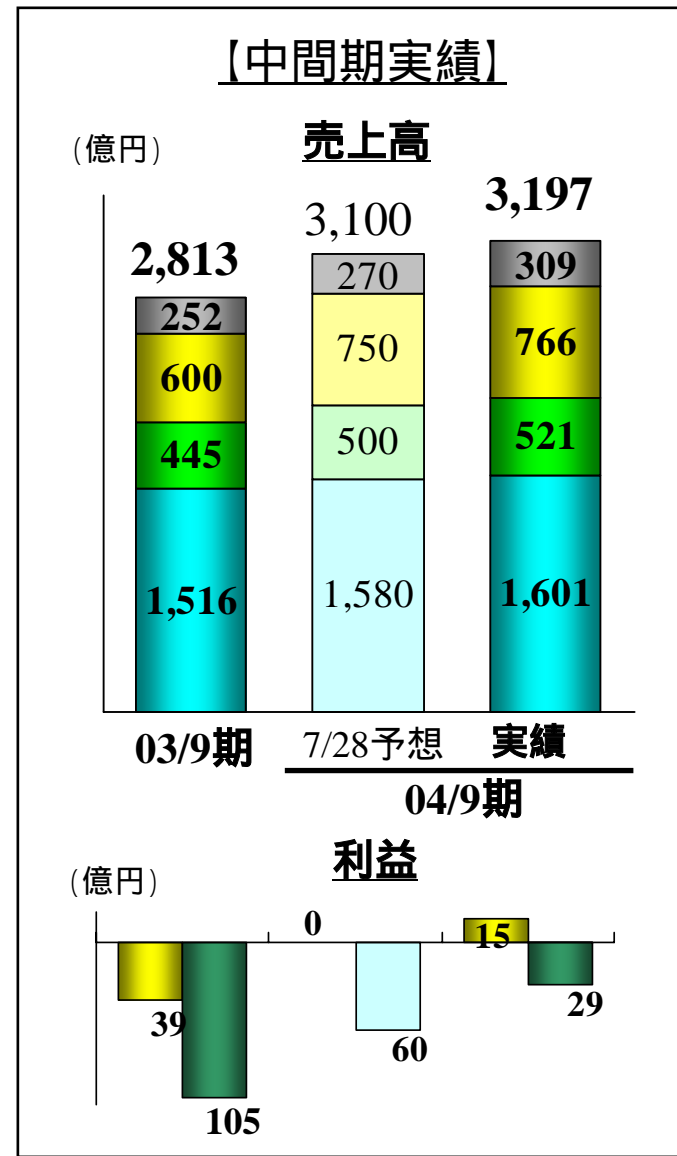
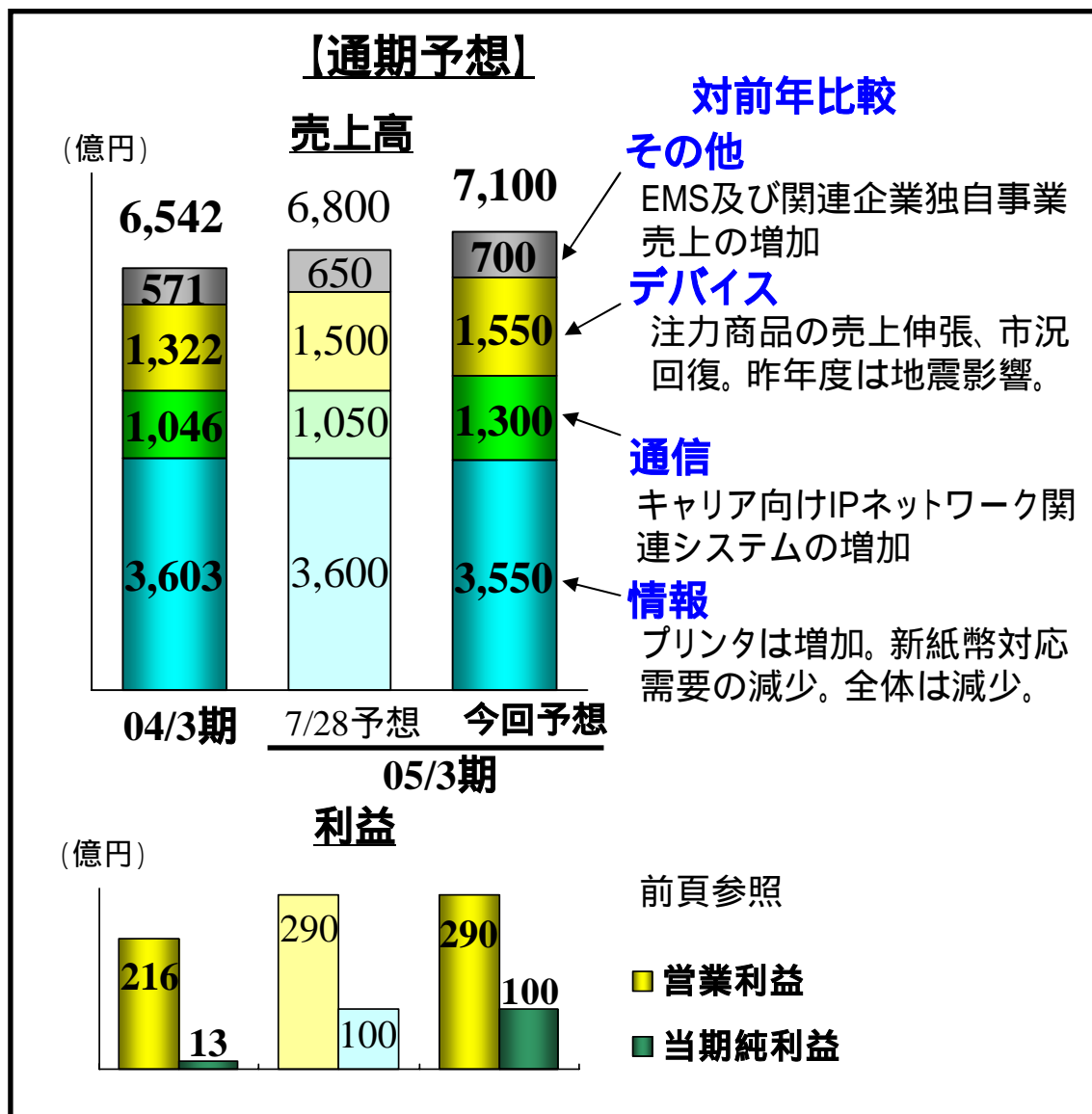
営業利益対前期比74億円増益の要因

- 今後の事業展開に向けた、設備投資、研究開発費増強
- 売上増、調達コスト低減により、価格下落、円高、投資等による減益要因を吸収
- 業績連動による賞与の増加はあるが、人員減および代行返上に伴う退職給付費用減により人件費は30億円減少



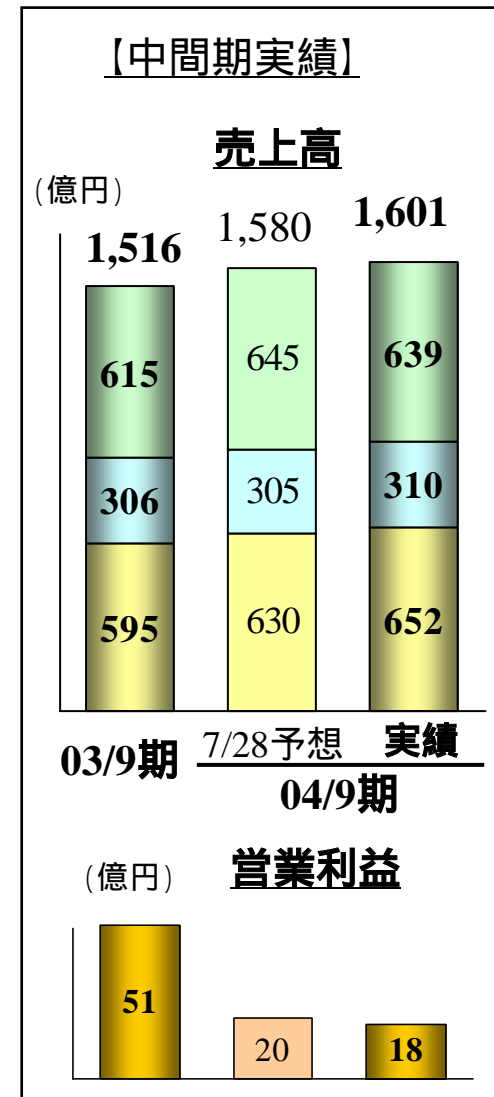
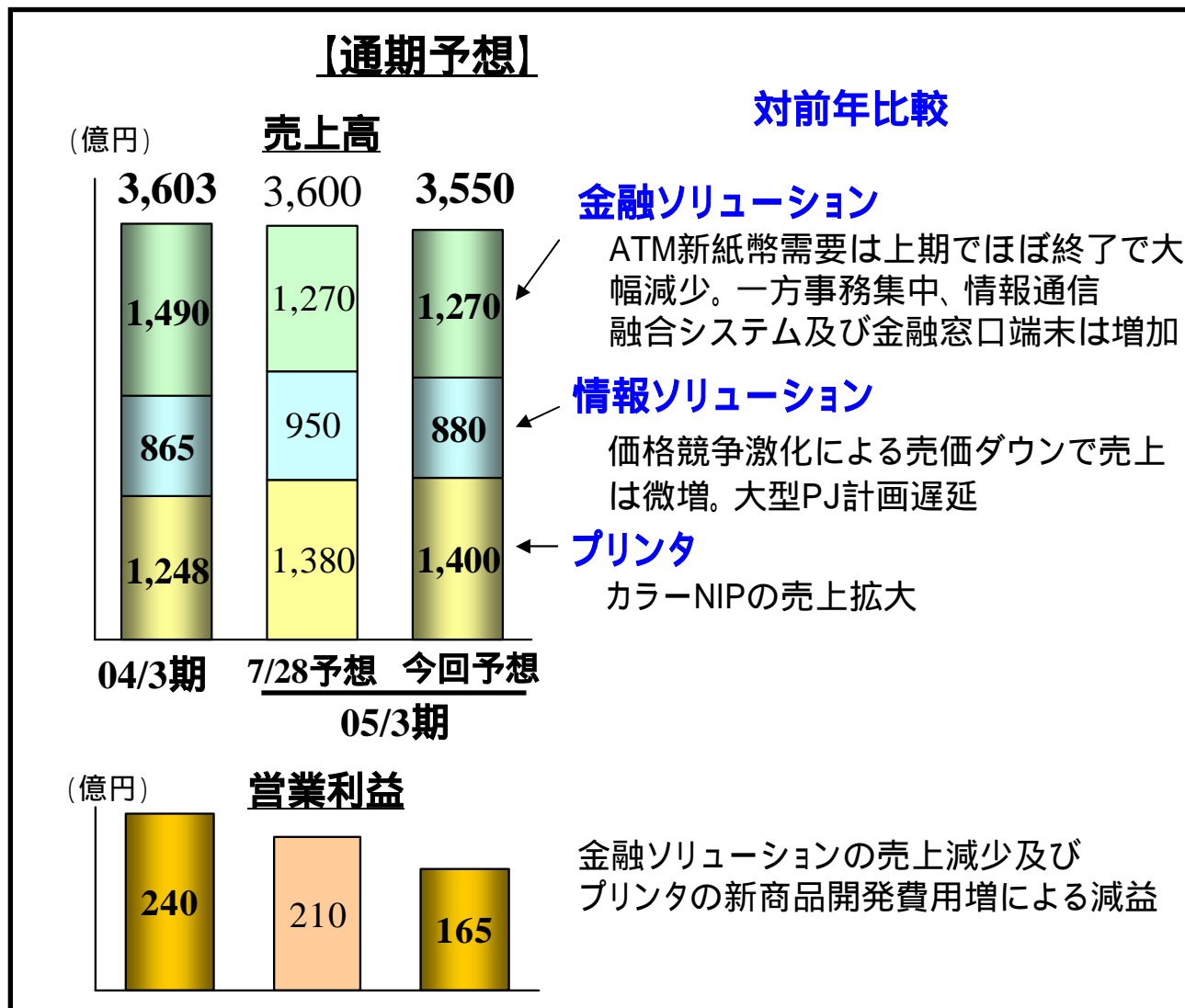
通期予想 【セグメント別】

- 対前年度比較で増収増益を達成



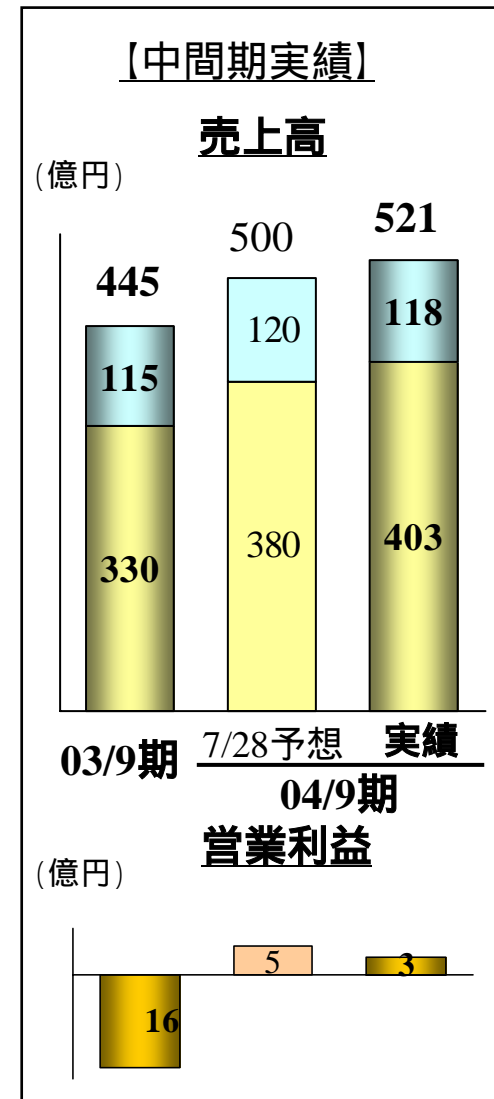
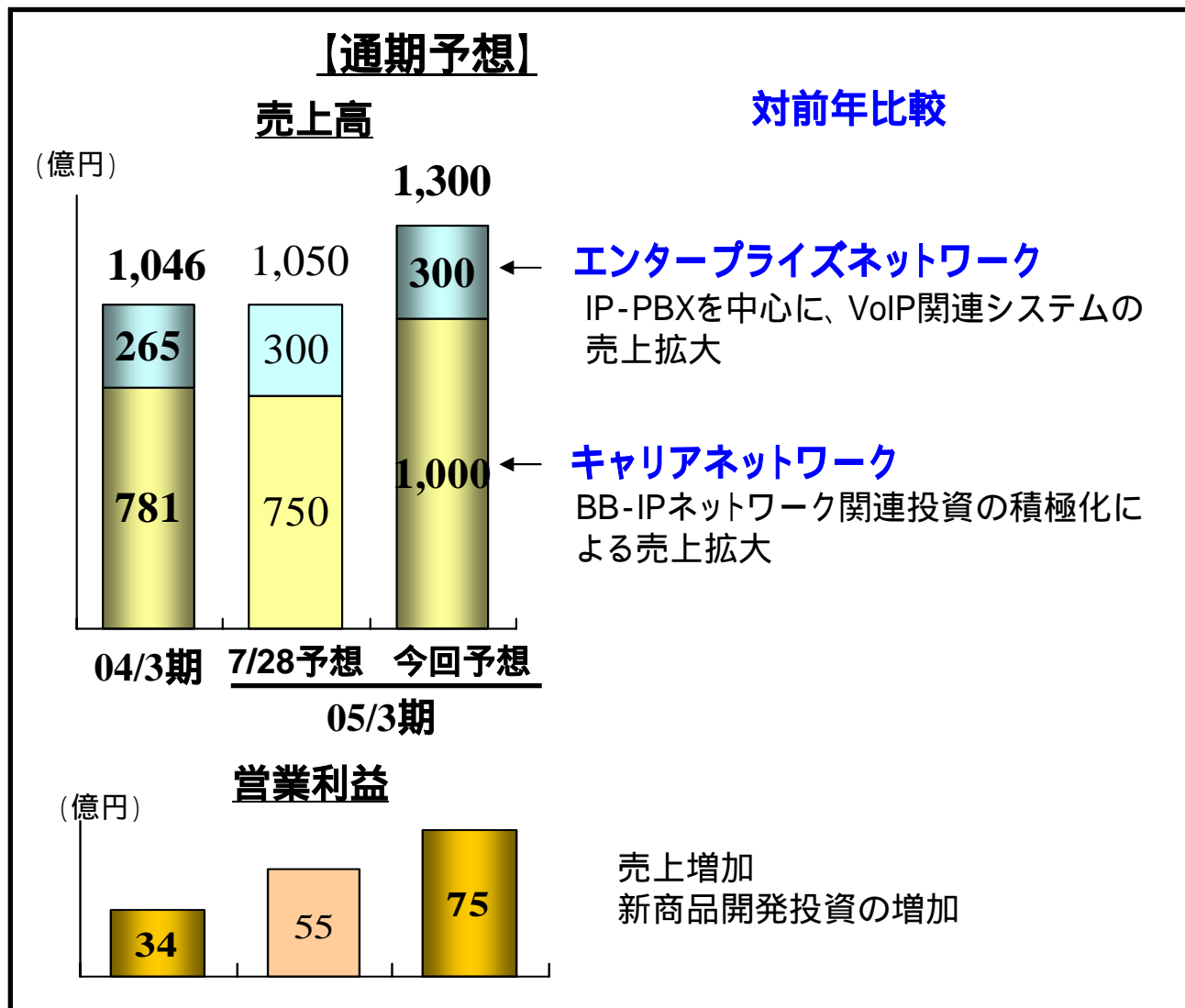
通期予想 【情報】

- 新紙幣需要は上期でほぼ終了。売上減少は金融ITソリューションおよびカラープリンタで一部カバーしたが、研究開発投資増により対前年比で減益



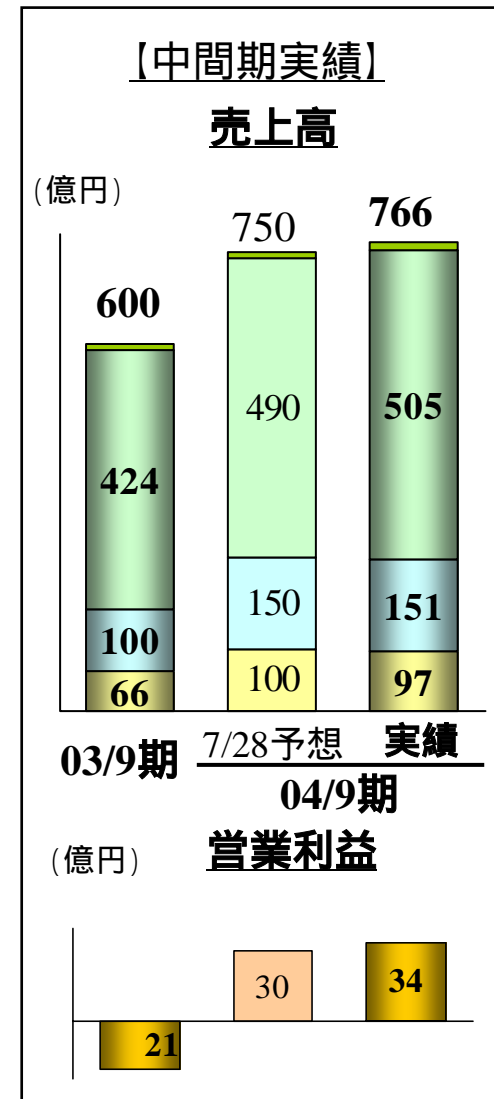
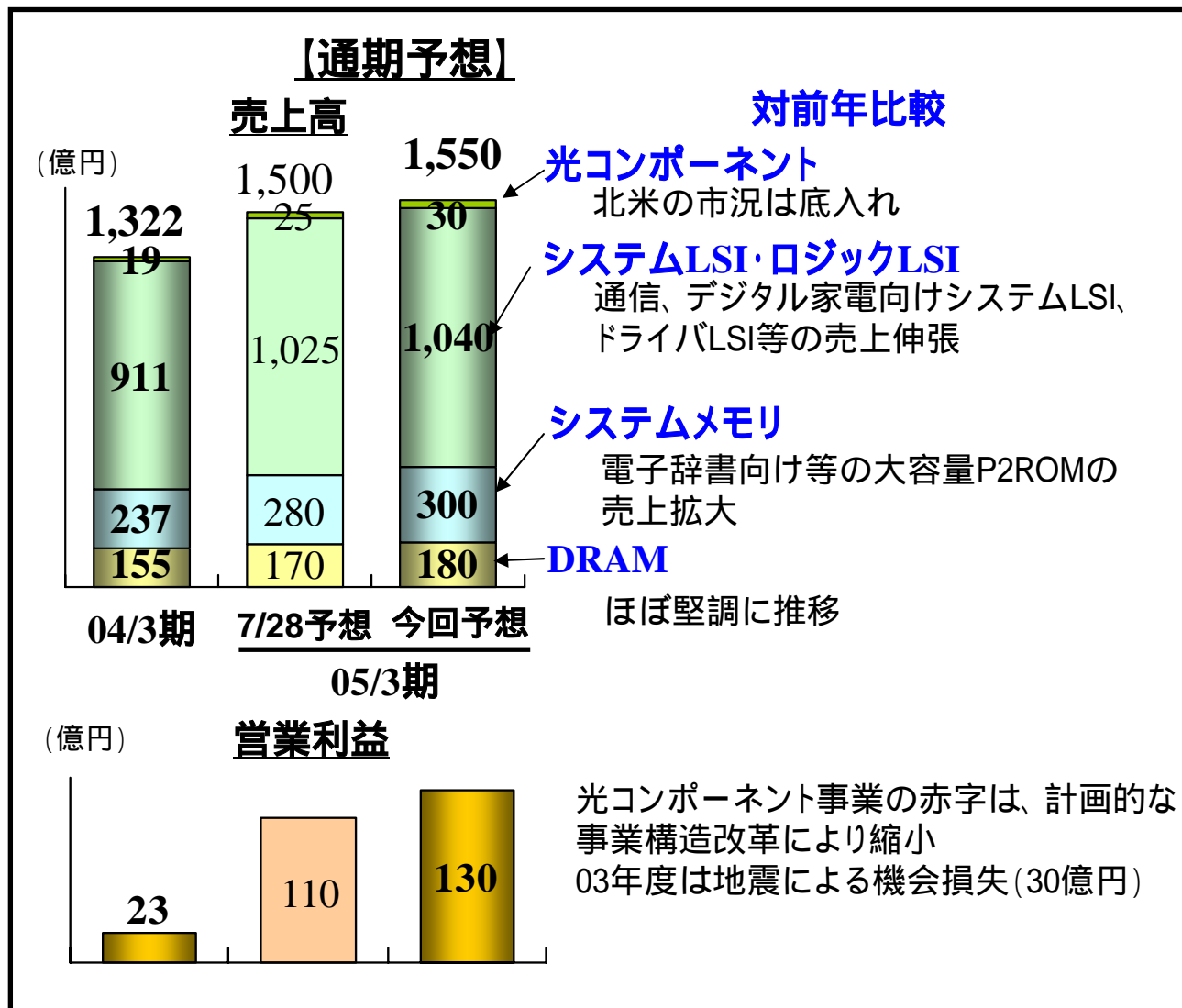
通期予想 【通信】

- キャリアのネットワーク関連投資増を背景に増収増益
- 将来の成長に向けた研究開発投資を増加



通期予想 【デバイス】

- パーソナル・モバイル市場需要拡大。下期、不透明感あるものの売上増
- 売上増及び光コンポーネント事業の構造改革により増益



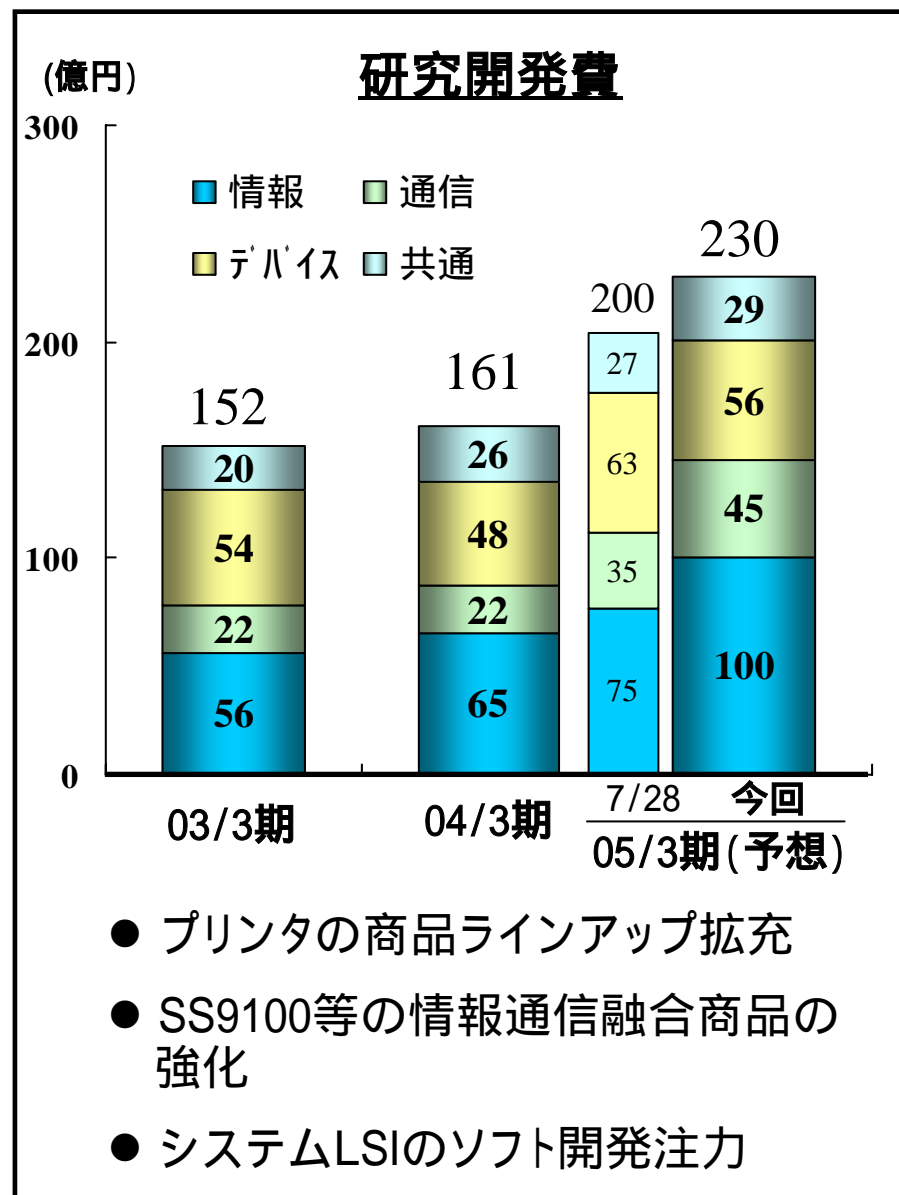
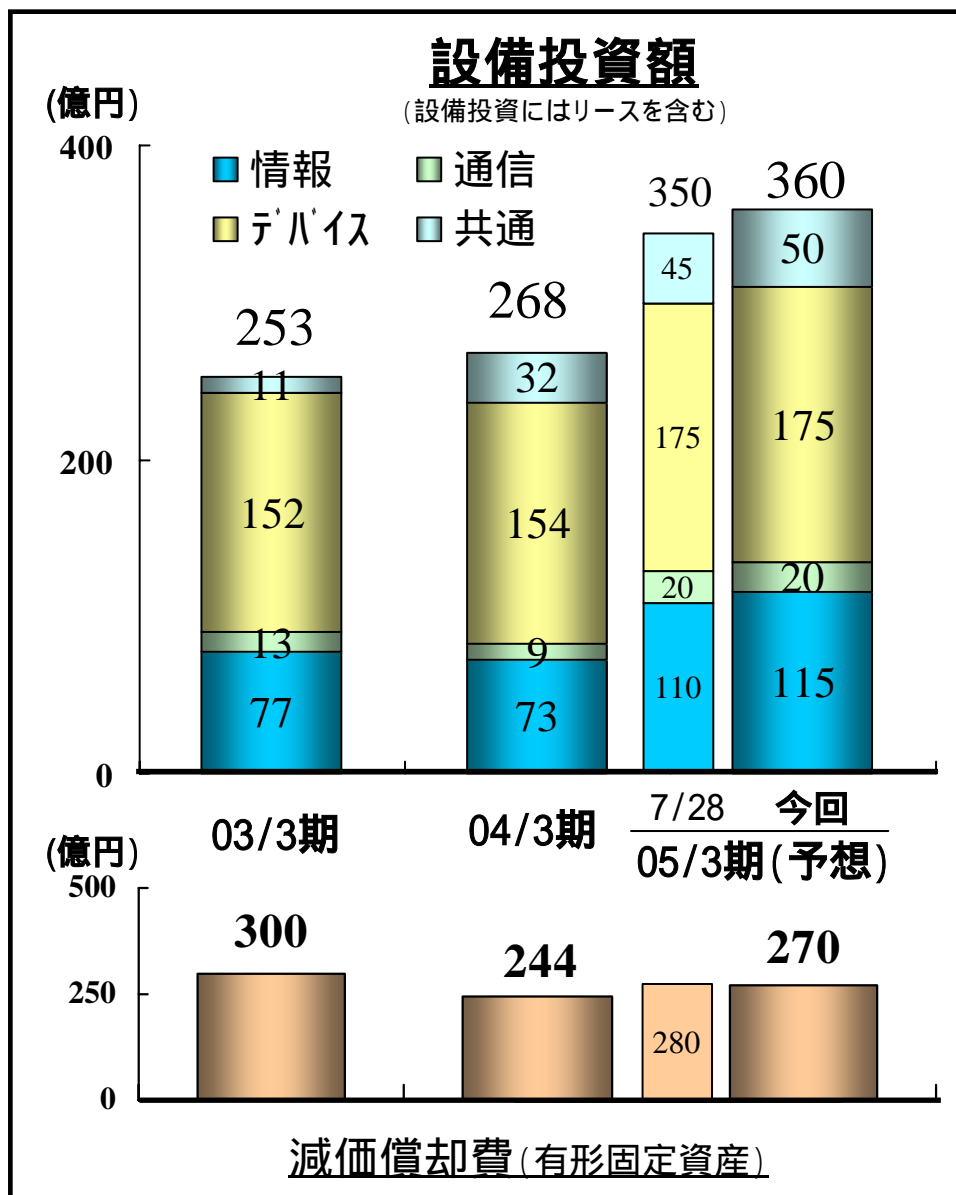
キャッシュ・フローの状況

- 中間期は運転資金の圧縮等により、フリー・キャッシュ・フローは
前回(7/28)予想に対し123億円良化。通期予想も50億円良化の予定

(金額単位:億円)

	0 4/3		0 5/3 (今回)		05/3通期 前回(7/28)予想
	中間期	通期	中間期	通期(予)	
営業キャッシュ・フロー	271	923	308	650	550
税金等調整前当期純利益	147	23	47	160	180
減価償却費	168	336	157	350	360
運転資金の増減	167	401	180	100	0
その他	83	163	18	40	10
投資キャッシュ・フロー	104	192	285	450	400
設備投資支払額	101	240	220	360	310
その他投資活動	3	48	65	90	90
フリー・キャッシュ・フロー(+)	167	731	23	200	150
財務キャッシュ・フロー	93	436	157	250	250
社債償還	77	399	100	150	150
長短借入金等の増減	16	37	57	100	100
キャッシュ・フロー計(+ +)	74	295	134	50	100
現金同等物等の期末残高	363	581	453	531	481
有利子負債の期末残高	3,257	2,914	2,734	2,664	2,664

設備投資・R & D

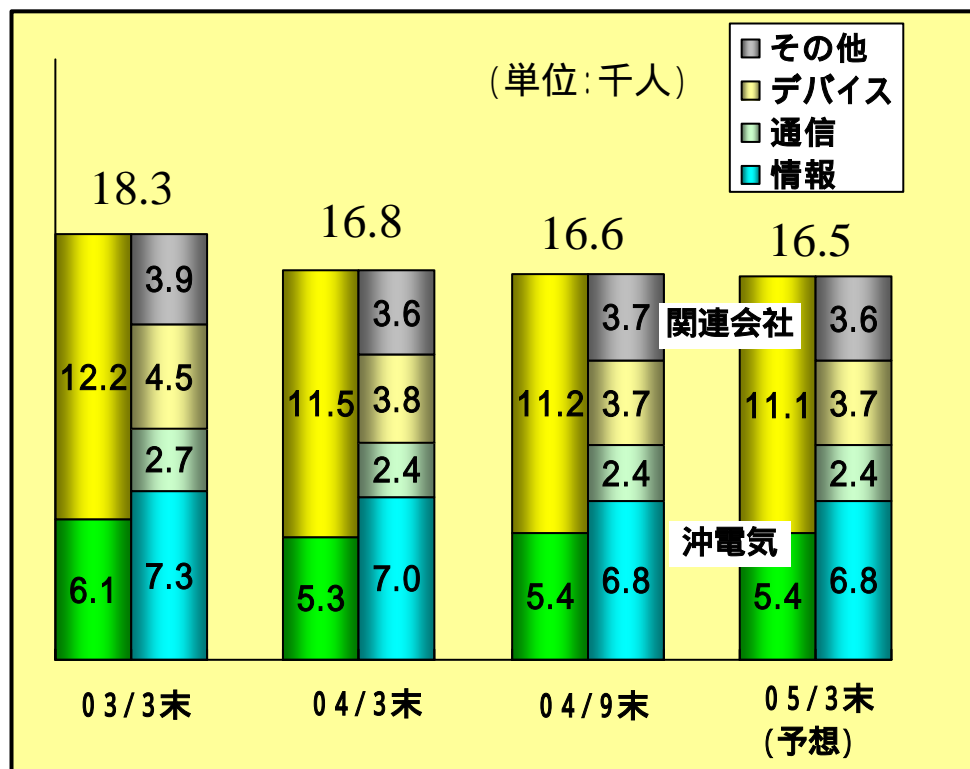


人員の状況

■ 事業環境変化への対応のために、人的資源の最適配置を推進

- ・重点注力分野については、即戦力としてキャリアを積極採用
04年度は例年の約3倍、200人に増加
- ・新卒の採用は減少傾向に歯止め
- ・総人員は事業規模に見合う適正範囲に維持

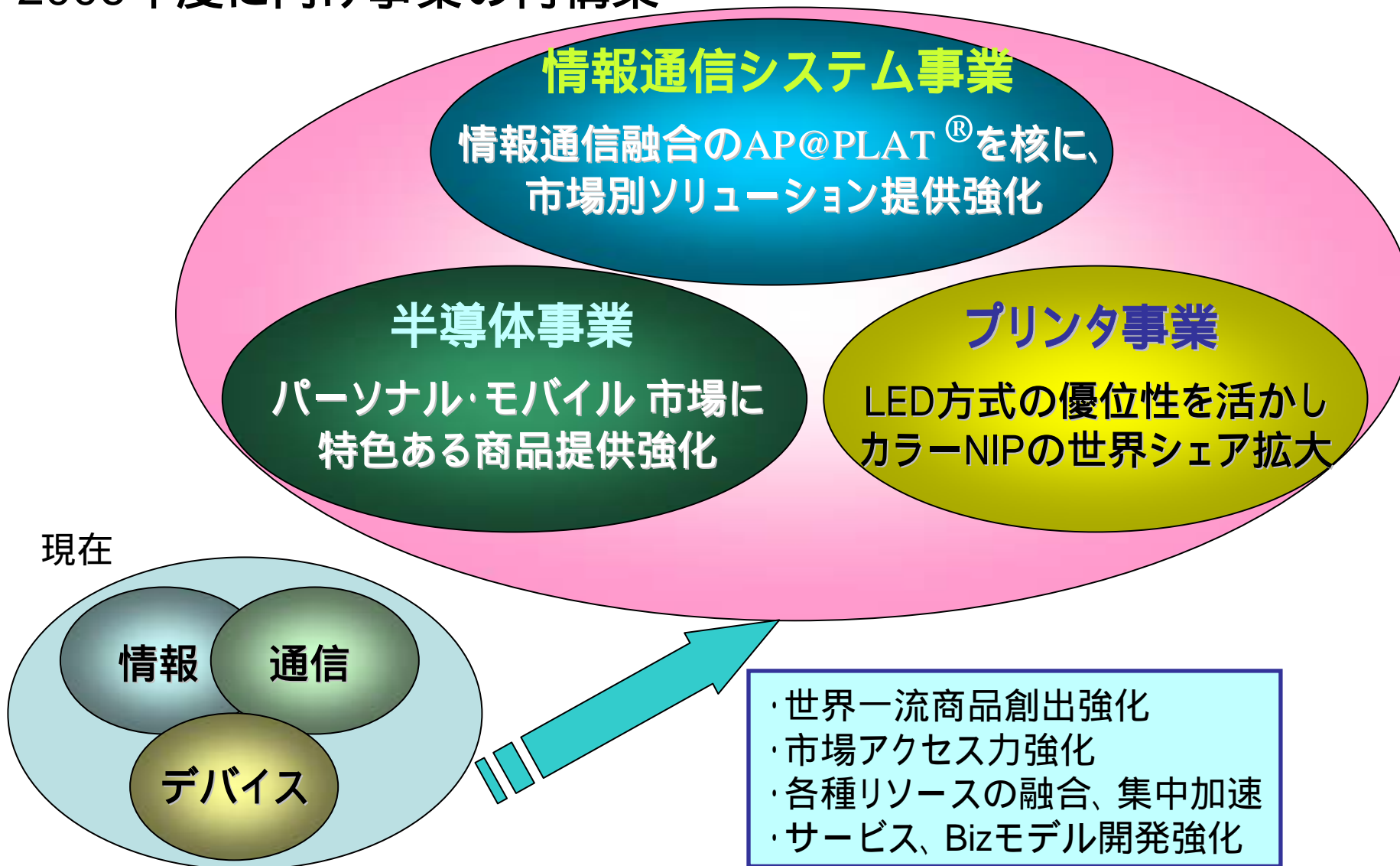
国内従業員数推移(非連結関係会社を含む)



	02年度	03年度	04年度	
			上期	年間
新卒	240	190	200	200
キャリア	70	60	60	200
採用	310	250	260	400
退職・転籍等	2,000	1,750	460	700
人員計	18,300	16,800	16,600	16,500

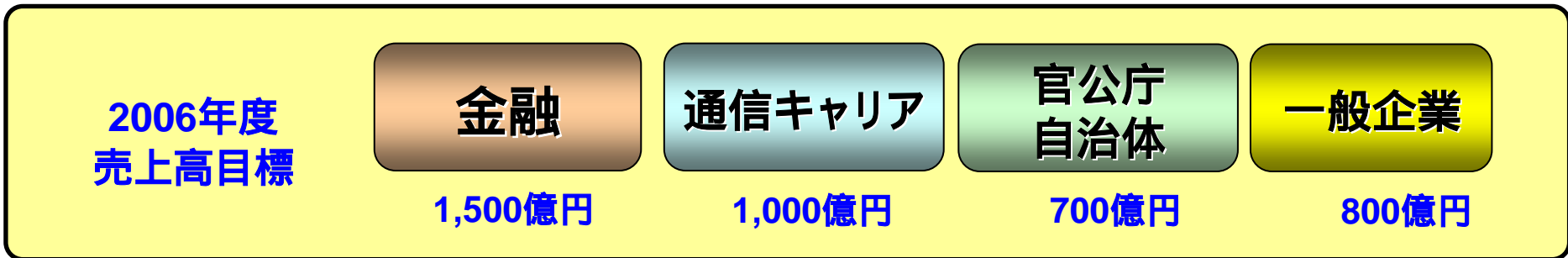
3つの重点注力事業

2006年度に向け事業の再構築



情報通信システム事業

2006年度目標： 売上高4000億円、営業利益350億円

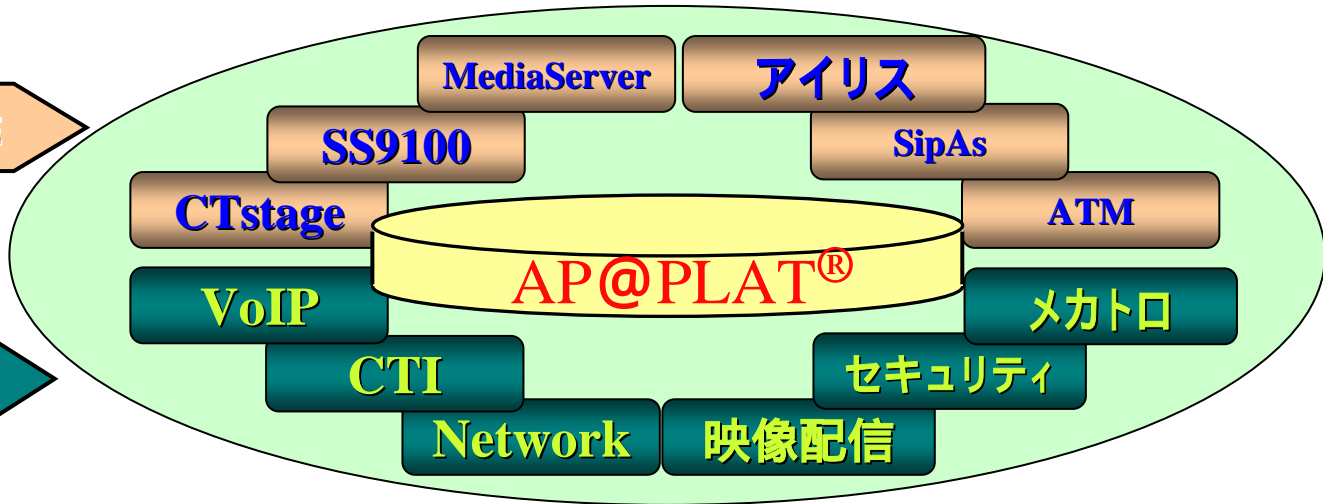


「お客様が望んでいる、あるいは今後望むであろう商品を素直に提供する」
 情報通信融合商品による得意市場へのアクセス強化

得意市場へソリューションの提供

優位性のある商品群

沖の得意技術



【情報通信】金融市場向けソリューション

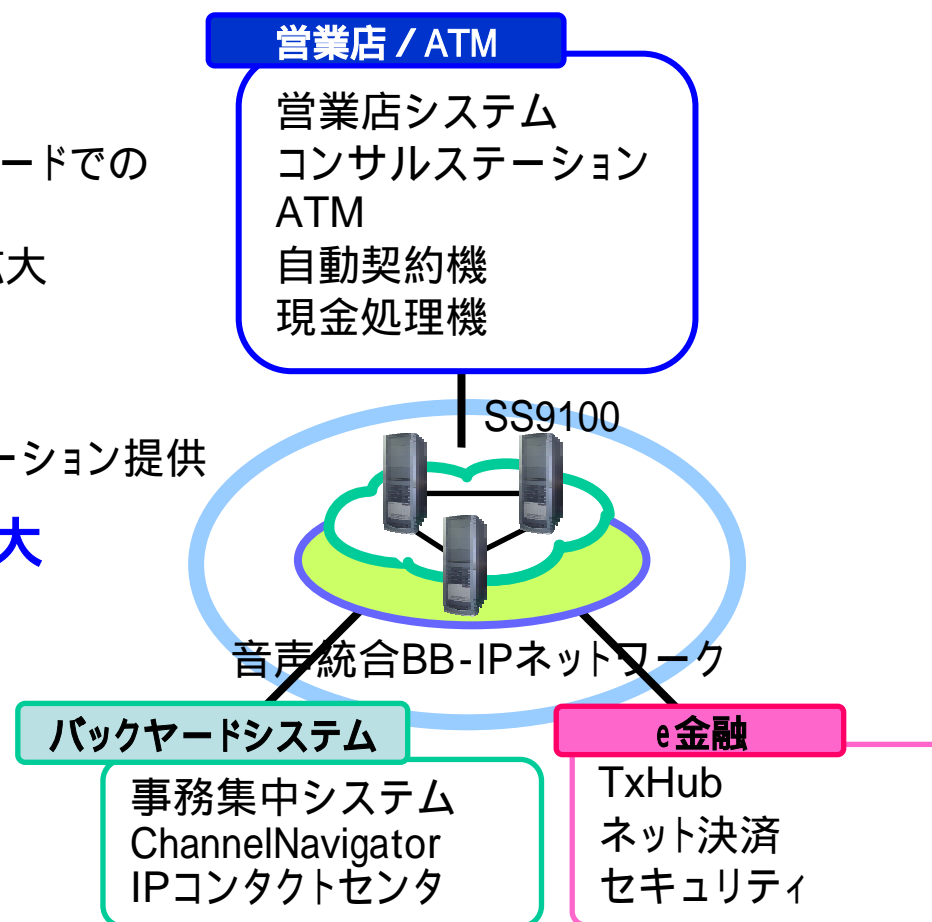
- 新紙幣対応需要は04/上期で終了。05年度以降の新事業戦略展開に向けた研究開発投資増強
- ソリューションビジネスの拡大およびATM事業(シェア40%)の更なる強化

【事業戦略】

- **事務集中システムの売上拡大**
金融機関の再編・統合の進行に伴いバックヤードでの事務集中システムの需要急増
国内トップシェア(24%)を背景に売上拡大
- **金融ITソリューションへの注力**
顧客困り込みのための販売系チャネル強化
営業店、e金融、バックヤードのITソリューション提供
- **金融以外の業種へのATM事業の拡大**
多機能ATM・発券端末を流通、旅客交通等、金融以外の業種に向けて拡販
- **海外市場向けATM事業の展開**
中国市場向け多機能ATMを投入
05年度目標シェア30%(台数ベース)

●事務集中システム・・・為替システム、印鑑照合、本人確認等

●TxHub・・・銀行内の勘定系トランザクションを、端末とホスト/サーバ間で管理及び転送するためのアプリケーション用のHUB




【情報通信】通信キャリア向けソリューション

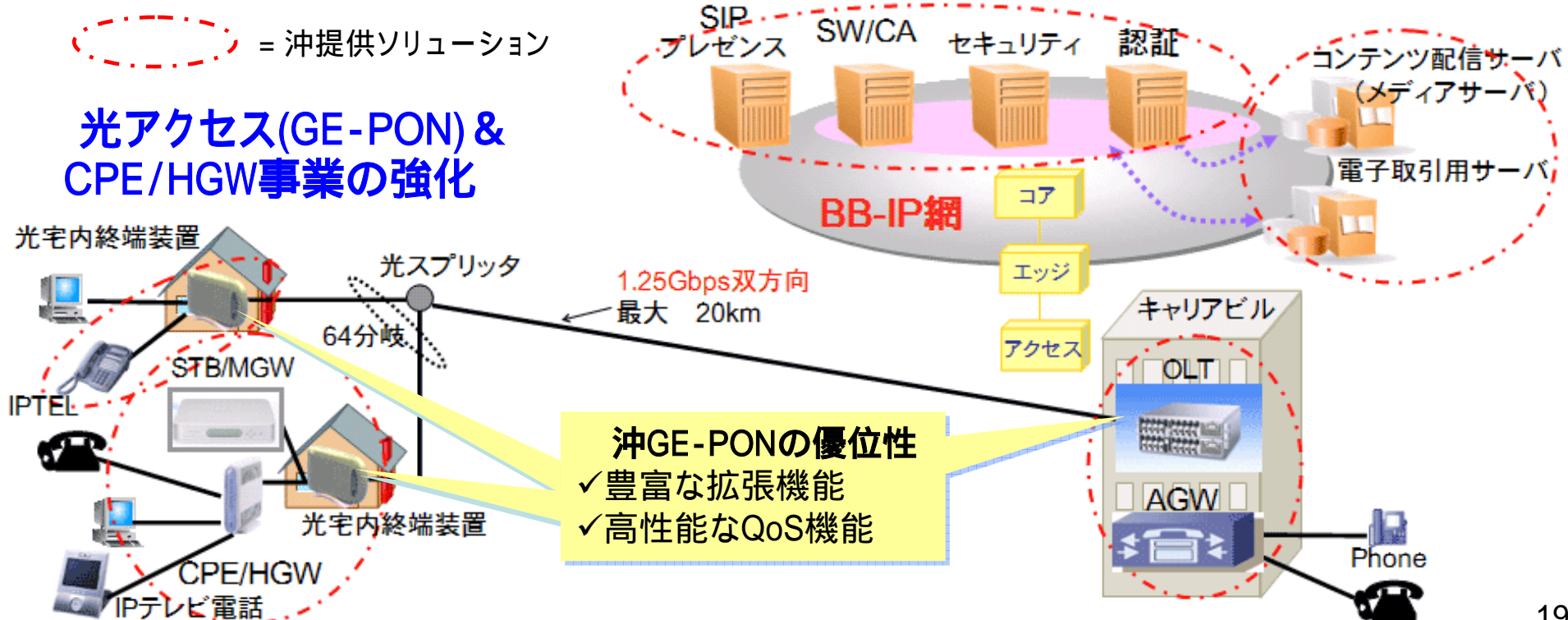
通信キャリアの投資動向

- バックボーン・ネットワークへの積極的投資加速、Bフレッツ拡販に伴う地域IP網の拡充
光アクセスの投資拡大 **GE-PON導入の本格化**
- 光IP電話サービス需要拡大に対応した**CPEの本格拡販**、CPEの高機能・HGW化
- ソフトバンク/日本テレコムグループの固定電話サービスへの参入 **新サービスの提供**
- IPネットワークの拡充に伴う、**IPテレビ電話、映像配信、Web連携SIPベースのアプリケーション**等の各種AP@PLATの需要拡大

アプリケーション&サービスプラットフォーム事業の拡大

 = 沖提供ソリューション

光アクセス(GE-PON) & CPE/HGW事業の強化



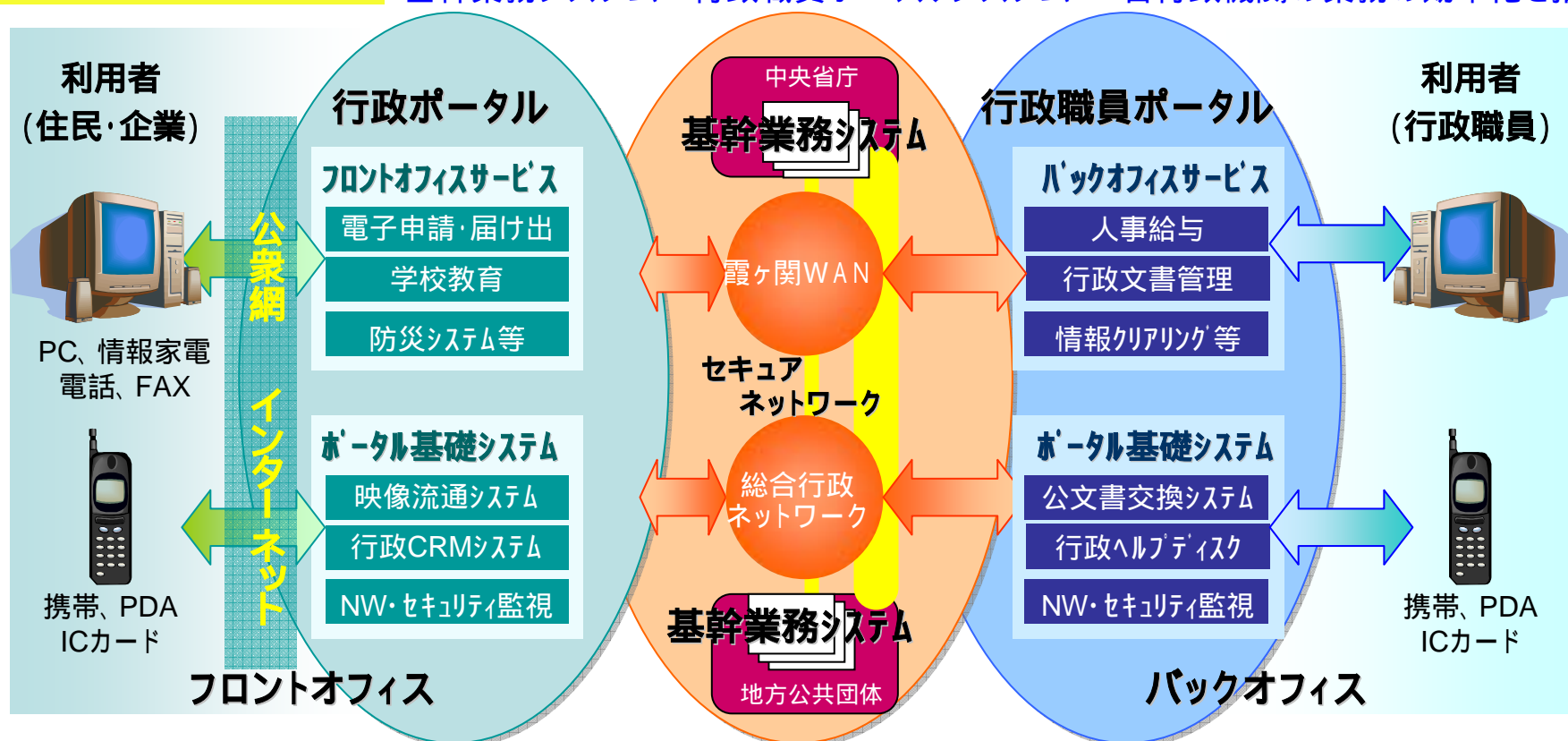
【情報通信】官公庁・自治体向けソリューション

e-Japan 戦略に基づく大型プロジェクトに注力

- セキュリティをアプリケーション・ネットワークの核としてe行政ソリューションを展開
 - ✓AP@PLATを軸に行政ポータル/基幹業務/行政職員ポータルに注力
- ETC、VIC Sなど道路交通の高度化を推進するITS関連システムに注力

e行政ソリューション

行政ポータルシステム・・・住民や企業の方々にワンストップ行政サービスを提供
 基幹業務システム / 行政職員ポータルシステム・・・各行政機関の業務の効率化を推進



【情報通信】一般企業向けソリューション

- 企業向け情報通信システム市場も情報と通信とが融合し急拡大
- 予約発券システムやKIOSKなどのチャネルシステムのNW融合も進展
- VoIP、コールセンタ、発券端末等のトップシェアの実績をベースに売上高の拡大を目指す

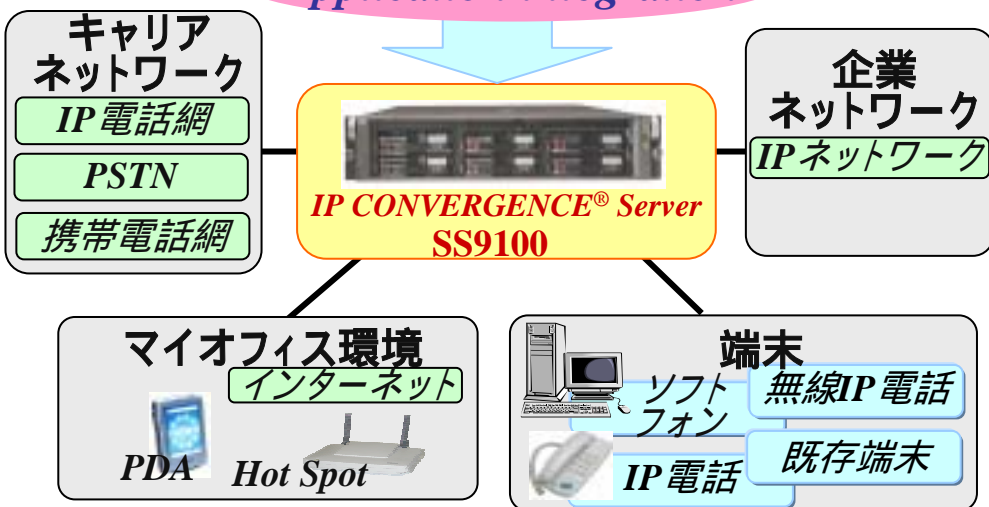
企業情報通信ソリューション

Microsoft .NET上で大規模IP-PBX機能と
基幹業務アプリケーションを融合させるSS9100を核に
ビジネスプロセス改革実現を目指す

基幹業務アプリケーションシステム



Application integration



旅客交通ソリューション

メカトロ、セキュリティに強み

- 予約発券端末シェア : No.1 (60%)
- 鉄道市場の自動予約発券端末シェア : 40%



空港チェックインシステム

IPコンタクトセンタ CTstage®

- 日本のCTI業界をリード
 - ✓ 国内コンタクトセンタ市場でのシェア38%
- 累計販売数: 4,000セット
 - ✓ 富士ゼロックス、東芝、NTTデータ 他
- 120社以上のパートナー
 - ✓ マイクロソフト、IBM、インテル、NEC 他



CTstage4i



半導体事業

2006年度目標： 売上高1700億円、営業利益170億円

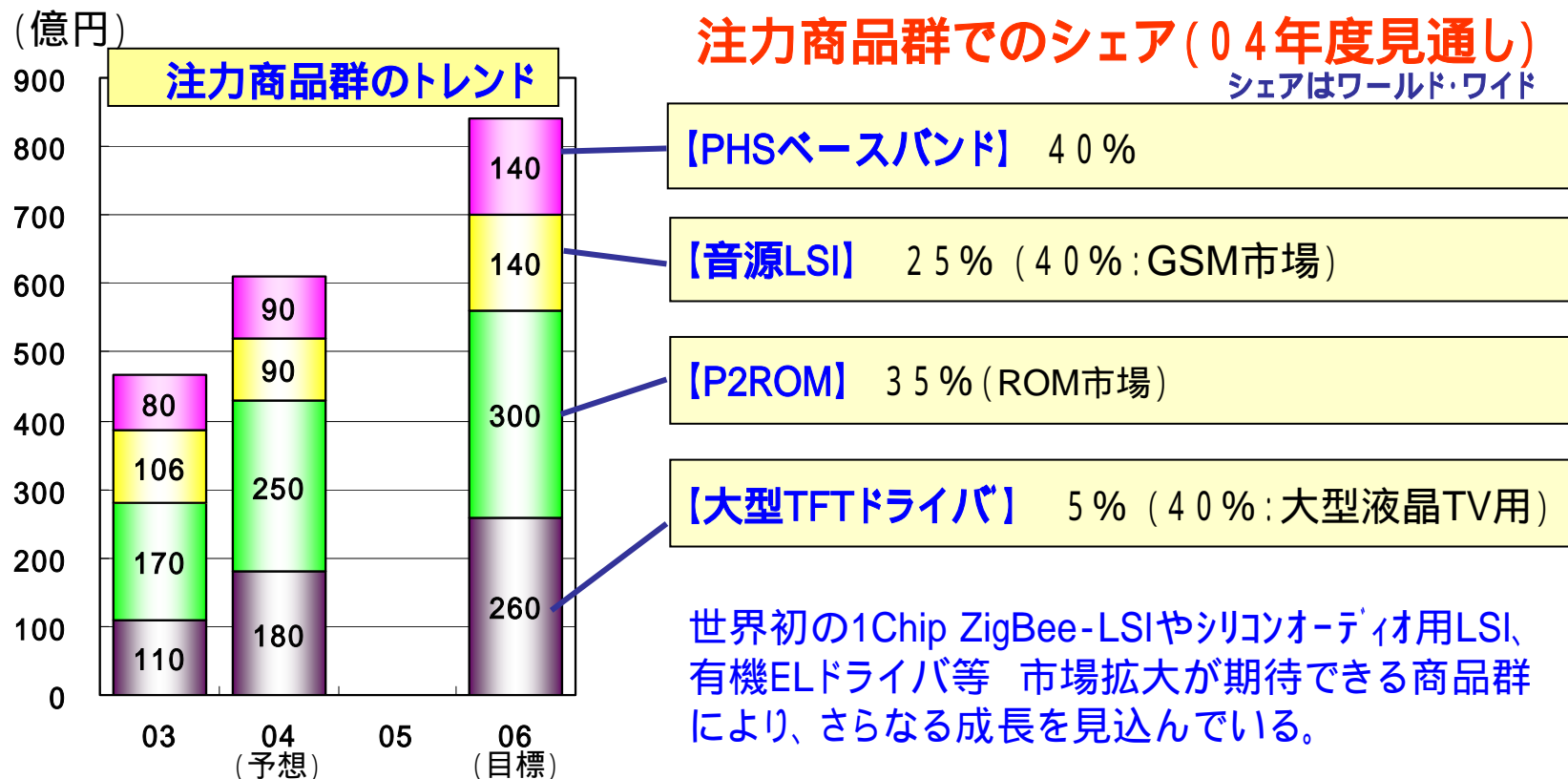
得意技術を活かした成長戦略、市況の影響を受けにくい
半導体事業構造、収益構造 (BEP1100戦略) の構築

- 半導体技術とシステム技術の融合、積極的なグローバル・アライアンス
低消費電力を特長とした高付加価値商品をパーソナル・モバイル市場に提供
- 新事業モデルの構築(ファブフリー)
自社ファブに捉われない商品企画 商品創出スピード・生産フレキシビリティ強化



【半導体】商品戦略

- 低消費電力・高耐圧・SOI/SOSなど優位性ある技術を活用した商品群の事業拡大
- 社内のシステム技術(情報・通信)と融合した商品事業の拡大(ZigBee、VoIP、アナログ混載)
- お客様やパートナーとタイアップした商品企画・商品開発の強化



補足: その他主力商品のシェア(ワールドワイド: 03年度沖推定)

コードレス電話LSI : 40%	音声合成LSI : 25%	TV向けメモリ(FIFO) : 80%
デジタルカメラ画像ドライバ : 30%	シリコンオーディオLSI : 30%	ADSLモデムLSI : 24%

プリンタ事業

2006年度目標： 売上高1800億円、営業利益150億円

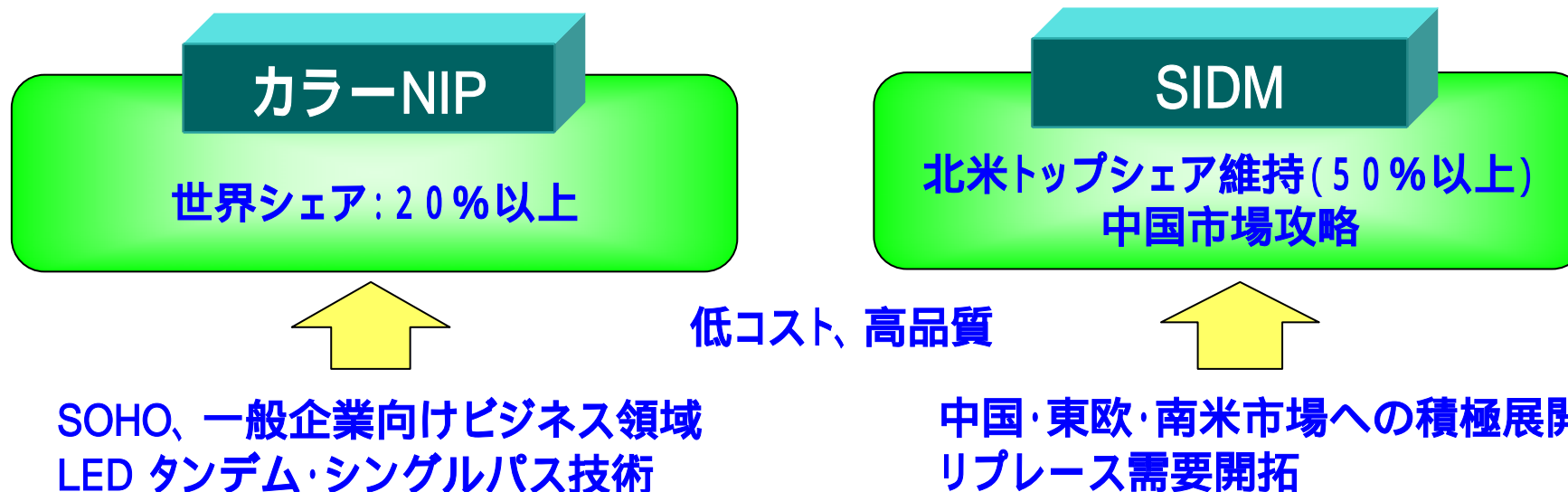
カラーNIP:

- Dellの参入で市場は一層活性化
- LEDの強み(小型・高速・高品質)を活かし世界市場シェア20%以上へ

SIDM:

- 更なるシェアアップとコストダウンにより収益の最大化を追求

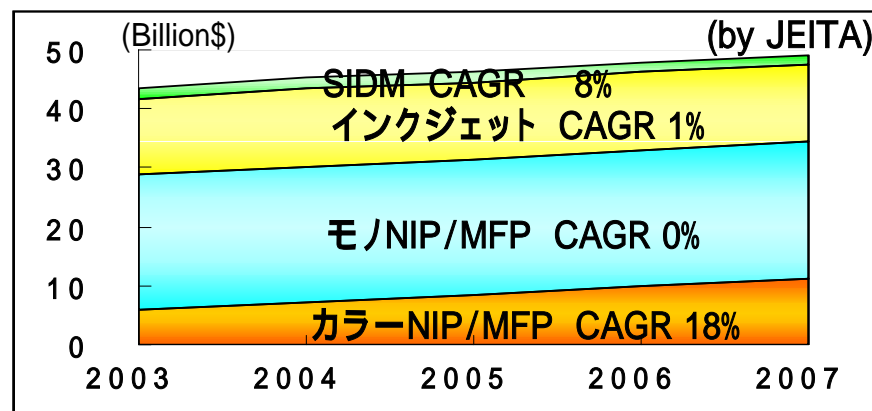
お客様の満足度向上を最優先に、世界最高の価格パフォーマンス商品を提供



沖はSOHO・一般企業向けのビジネスユースを中心に事業展開

プリンタ市場動向(本体出荷高)

- カラーNIP/MFPは年率 18%の成長
- SIDMは特定業務を中心に安定、中国市場は拡大



【沖の事業領域】

用途		本体価格	¥10K	¥100K	¥1M	¥10M
ビジネスユース	商用印刷					大型レーザ他
	インハウス印刷					
	グラフィックスデザイン					
	一般企業・SOHO					
	特定業務					
パーソナルユース						

沖の事業領域 (Red box at bottom right)

Diagram labels: サーマル (blue oval), インクジェット (grey oval), SIDM (green oval), モノNIP (purple oval), カラーNIP (yellow oval), ワークグループMFP (grey oval), ラインプリンタ (orange oval).

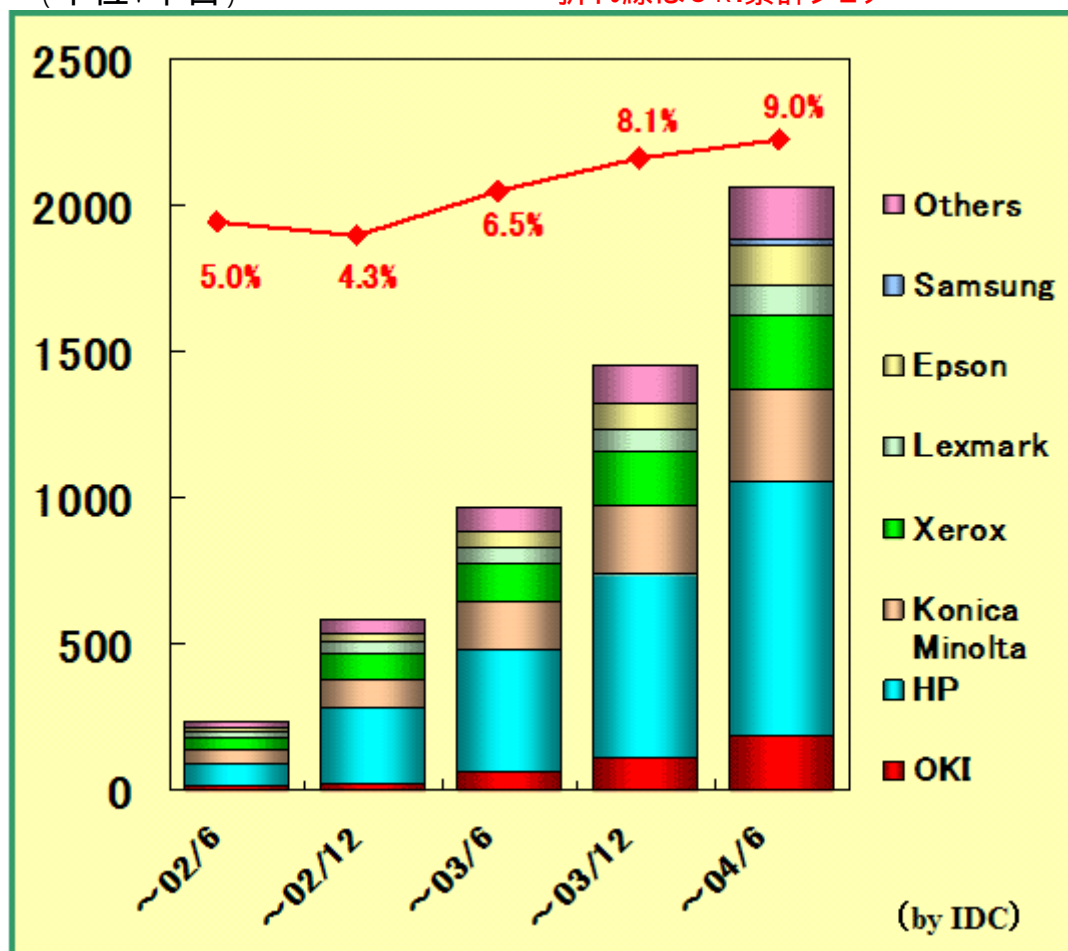
【プリンタ】カラーNIPシェア

- 欧米におけるシェアは2003年度から順調に伸長
- 主要各国で軒並み上位シェアグループに

< 欧米累計出荷台数推移 > (02/1以降)

(単位:千台)

折れ線はOKI累計シェア

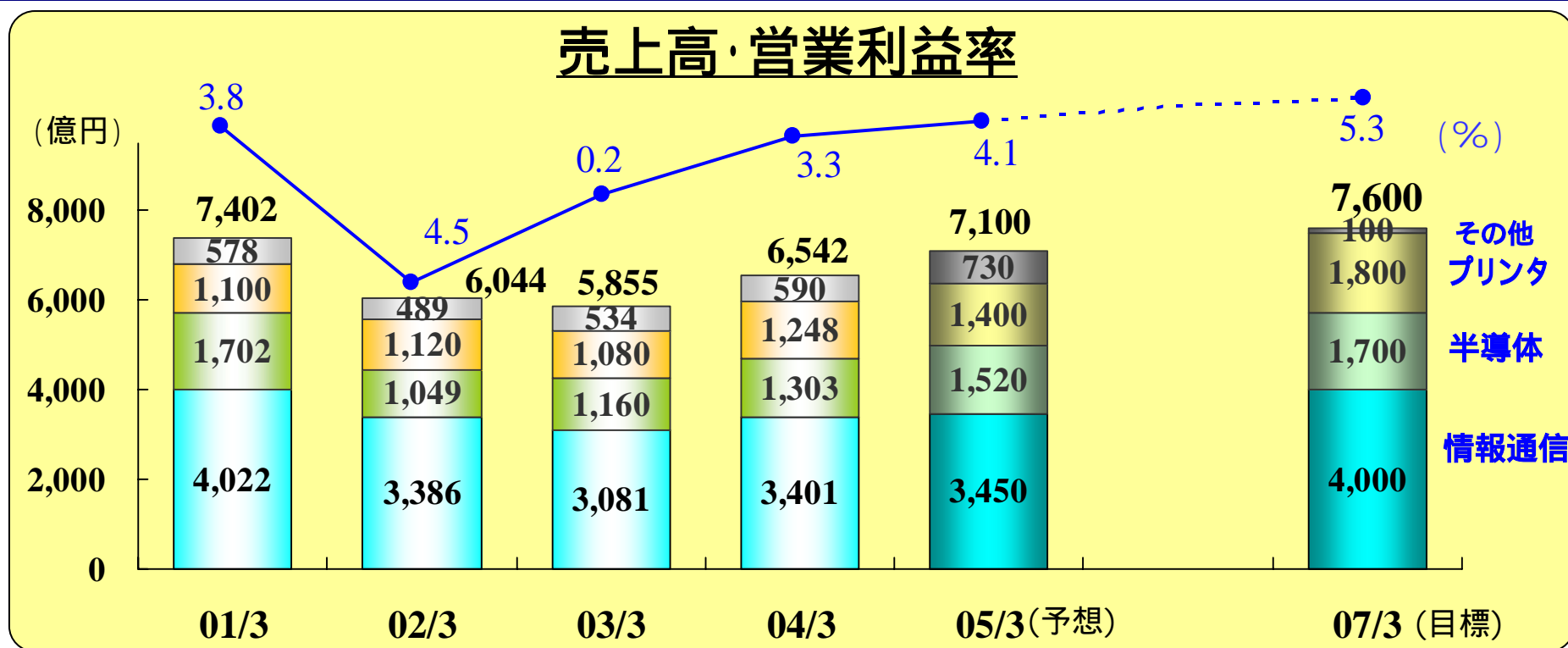


< 国別シェア(日欧米主要国) > IDC

2004/1-6

	市場割合	沖のシェア	
		シェア	順位
Worldwide	100%	8.6%	No.5
US	29.8%	9.6%	No.4
Japan	13.7%	4.0%	No.5
Germany	7.9%	10.5%	No.4
UK	7.5%	6.5%	No.6
France	4.4%	6.2%	No.5
Italy	3.8%	14.9%	No.2
Spain	2.9%	40.8%	No.1
Switzerland	1.8%	8.9%	No.3
Sweden	1.5%	16.0%	No.2
Netherlands	1.5%	3.7%	No.6
Others	25.3%	5.7%	No.5

中期経営目標（新セグメント）



	2003/3実績	2004/3実績	2005/3予想	2007/3目標
売上高	5,855億円	6,542億円	7,100億円	7,600億円
営業利益	14億円	216億円	290億円	400億円以上
当期純利益	66億円	13億円	100億円	200億円以上
ROE	-	1.2%	8.3%	15%以上
D / E レシオ	3.3倍	2.6倍	2.2倍	1.5倍以下

用語集

P3	NIP	Non-Impact Printer	P20	ETC	Electronic Toll Collection
P7	IT	Information Technology		VICS	Vehicle Information Communication System
	BB	Broadband		ITS	Intelligent Transport System
	IP	Internet Protocol		PDA	Personal Digital Assistance
	LSI	Large Scale Integration		CRM	Customer Relationship Management
P9	EMS	Electric Manufacturing Service	P21	PSTN	Public Switched Telephone Network
P10	ATM	Automated Teller Machine		KM	Knowledge Management
	PJ	Project		ERP	Enterprise Resource Planning
P11	PBX	Private Branch eXchange		SCM	Supply Chain Management
	VoIP	Voice over Internet Protocol	P22	BEP	Break Even Point
P12	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory		PHS	Personal Handy-phone System
	DRAM	Dynamic Random Access Memory		DSC	Digital Still Camera
P14	R&D	Research and Development		DVC	Digital Video Camera
P16	LED	Light-Emitting Diode		DCP	Digital Cordless Phone
	Biz	Business		FPD	Flat Panel Display
P17	CTI	Computer and Telephony Integration		SOI	Silicon on Insulator
P19	GE-PON	Giga-bit Ethernet Passive Optical Network		SOS	Silicon on Sapphire
	CPE	Customer Premises Equipment		WCSP	Wafer level Chip Size Package
	HGW	Home Gate Way		EPROM	Erasable Programmable Read Only Memory
	SIP	Session Initiation Protocol		Fe-RAM	Ferroelectric Random Access Memory
	SW/CA	Soft Switch / Call Argent	P23	GSM	Global System for Mobile Communications
	STB	Set Top Box		TFT	Thin Film Transistor
	MGW	Media Gate Way		EL	Electro-Luminescence
	OLT	Optical Line Terminal		FIFO	First-In First-Out
	AGW	Access Gate Way	P24	ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
	QoS	Quality of Service		SIDM	Serial Impact Dot Matrix
				SOHO	Small office / Home office
				MFP	Multi Function Printer

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。